

平成 28 年 5 月 20 日

【照会先】

職業安定局 派遣・有期労働対策部

企画課 若年者雇用対策室

室長 五百簾頭 千奈美（内線 5862）

室長補佐 秋山 雅紀（内線 5333）

（代表電話）03(5253)1111

（直通電話）03(3597)0331

報道関係者 各位

大学等新卒者への就職支援の状況について

～「未内定就活生への集中支援 2016」により約3万2千人の就職が決定～

本日、厚生労働省及び文部科学省は、平成 27 年度新規学校卒業者の就職状況を発表しました。

この結果、平成 28 年 4 月 1 日現在の新規大学卒業者の就職率は、97.3%（前年同期比 0.6 ポイント増）となり、調査を開始した平成 9 年 3 月卒業者以来過去最高の水準となりました。

厚生労働省においては、文部科学省及び経済産業省との連携により、「未内定就活生への集中支援 2016」に取り組みました（詳細は別紙 1）。

高校・大学等とジョブサポーターとの連携による個別支援の徹底により、1 月～3 月末で未内定者約 3 万 2 千人が就職決定しました。特に、平成 28 年 3 月卒の大学生については、同期間に約 1 万 5 千人の就職が決定しました（詳細は別紙 2）。

新規大学卒業者の就職希望率は平成 9 年 3 月卒の調査開始以降で最高となっており、秋以降もあきらめずに就職活動を続ける姿勢がうかがえます（詳細は別紙 3）。

就職が決まらないまま卒業した方に対しても、引き続き、ジョブサポーターによる個別支援を継続し、「未就職卒業生への集中支援 2016」に取り組んでいます（詳細は別紙 4）。

【添付資料】

- 別紙 1 「未内定就活生への集中支援 2016 の取組状況」
- 別紙 2 「平成 27 年度におけるジョブサポーター支援対象就職決定者数」
- 別紙 3 「新規大学卒業者の就職希望率の推移」
- 別紙 4 「未就職卒業生への集中支援 2016」



未内定就活生への集中支援2016の取組状況

新卒者の就職環境は順調に回復している状況にありますが、文部科学省、厚生労働省及び経済産業省は、就職未内定の学生・生徒が1人でも多く卒業までに就職できるよう、平成28年1月から3月末までを集中支援期間とし、「未内定就活生への集中支援2016」を実施しました。

【実績】就職者数：約**3.2万人**（前年度約3.3万人）

※就職希望者数のうち未就職卒業生数（推計値）：約**2.0万人**（前年度約3.1万人）

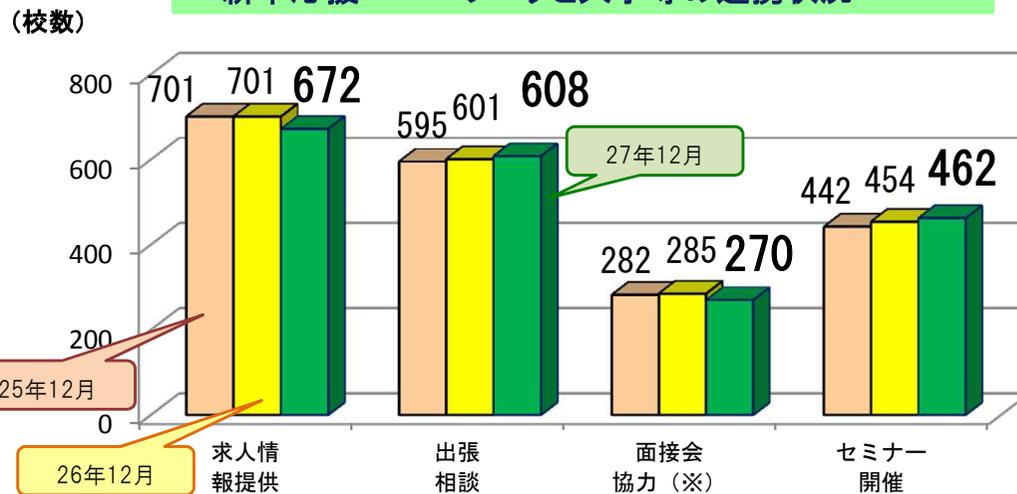
未内定の学生・生徒に「就職をあきらめさせない」ためのジョブサポーターや大学の就職相談員等の連携による個別支援の徹底（文科・厚労*）

【実績（平成28年1月～3月末）】 相談件数 **のべ110,013件**、就職者数 **31,645人**

大学等から未内定者に新卒応援ハローワークを積極的に周知。大学生の利用者のうち約**58%**が大学等からの送り込みにより、新卒応援ハローワークに来所。

【実績（平成28年1月～3月末）】
のべ利用者数 **79,413人**

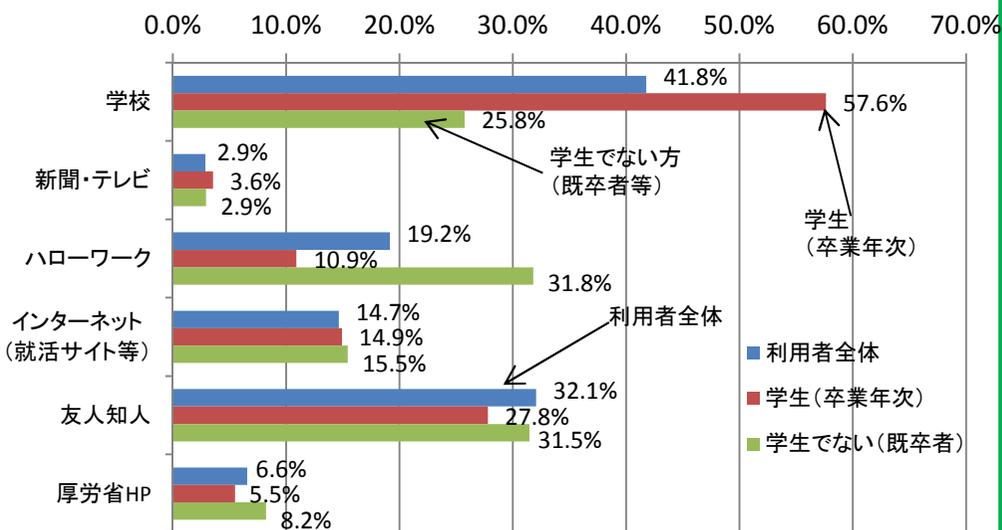
新卒応援ハローワークと大学等の連携状況



出所：職業安定局業務統計「大学との連携状況」(27年12月)

(※) 大学が開催する面接会等へのジョブサポーターの派遣、参加企業のあっせんなど

新卒応援ハローワークを知ったきっかけ



出所：職業安定局業務統計「新卒応援ハローワーク利用者アンケート調べ」(28年2月)

新卒応援ハローワークと大学との連携が進み、平成27年12月末現在で**747キャンパス**※（平成26年12月時点では743キャンパス）が新卒応援ハローワークと連携し、学生の就職支援をしている。

※1大学に複数の校舎があり、それぞれ別の新卒応援ハローワークと連携している場合は、別のキャンパスとしてカウント。

中堅・中小企業中心の就職面接会の開催（厚労*・経産）

未内定等の学生・生徒や既卒者のために、中堅・中小企業を中心とした就職面接会を開催。

【実績（平成28年1月～3月末）】

◇大学生向け 370回／ 求人数 20,567人 / 参加者数 8,913人

◇高校生向け 70回／ 求人数 6,082人 / 参加者数 573人

▼就職面接会の様子



中小企業と大学生等とのマッチング等の実施（地域中小企業人材バンク事業）

（文科・厚労・経産*）

地域人材コーディネイト機関が大学・ハローワーク等と連携し、中小企業と大学生等の交流の場の設定から新卒者等の採用・定着までを一貫して支援する体制を構築しており、これを活用して、3月末までに未内定者が参加できる合同説明会を開催。

【実績（平成28年1月～3月末）】 未内定者が参加できる合同説明会：107回

保護者を通じた未内定の学生・生徒への就職支援の周知（文科・厚労*）

未内定等の学生・生徒をもつ保護者に就職の現状に対する理解を求めるとともに、学生・生徒に対して新卒応援ハローワーク等の就職支援について周知を実施。

【実績（平成28年1月～3月末）】

◇保護者への相談件数：7,503件、保護者対象セミナー：29回（642人）

◇啓発文書の送付： 35,952通（うち、学校を通じた送付27,227通）



臨床心理士による未内定の学生・生徒の心理的ケアの実施（厚労）

就職活動の長期化等によりケアが必要な未内定の学生・生徒に対する、新卒応援ハローワーク等に定期的に配置している臨床心理士による心理的ケアの実施。

【実績（平成28年1月～3月末）】 相談件数：のべ946件



民間就職情報サイトによるジョブサポーター・新卒応援ハローワーク等の周知（厚労）

主要な民間就職情報サイトに対し、ジョブサポーターや新卒応援ハローワーク等の支援の周知のためのバナー掲載について協力を要請し、協力を得て、未内定等の学生への周知を徹底。

（平成28年3月18日現在、協力いただいている就職情報サイト（運営会社名五十音順 敬称略））

○「就活ラボ2016」：<https://www.ac-lab.jp/2016/top/index.php>

○「朝日学情ナビ2016」：<http://www.gakujo.ne.jp/2016/index.aspx?p0=99>

○「Re就活」：<http://re-katsu.jp/career/index.aspx>

○「就職ウォーカーNet2016」：<http://www.s-walker.net/2016/>

○「ダイヤモンド就活ナビ2016」：<https://navi16.shukatsu.jp/16/>

○「日経就職ナビ2016」：<https://job.nikkei.co.jp/2016/top/>

○「ブンナビ！2016」：<https://bunnabi.jp/2016/index.php>

○「マイナビ2016」：<http://job.mynavi.jp/2016>

○「リクナビ2016」：<https://job.rikunabi.com/2016/>

（運営）株式会社 アクセスヒューマネクスト

（運営）株式会社 学情

（運営）株式会社 学情

（運営）株式会社 ジェイ・ブロード

（運営）株式会社 ダイヤモンド・ヒューマンリソース

（運営）株式会社 日経HR、株式会社 ディスコ

（運営）株式会社 文化放送キャリアパートナーズ

（運営）株式会社 マイナビ

（運営）株式会社 リクルートキャリア

※ 複数の省が連携して実施している支援メニューについての問い合わせ先は、*印の省へお願いします。

平成27年度におけるジョブサポーター支援対象就職決定者数

- ◆ 年度前半は未就職卒業者が多く、年度後半は現役の未内定学生が増加する傾向となっています。
- ◆ ジョブサポーターの新卒者（大学4年生等）に対する支援は、主に卒業が間近に迫った年度後半を中心に実施しており、大学と連携することにより、年度末までに未内定の学生を新卒応援ハローワークに登録し、学生に対し切れ目のない支援を提供しています。

【実績】

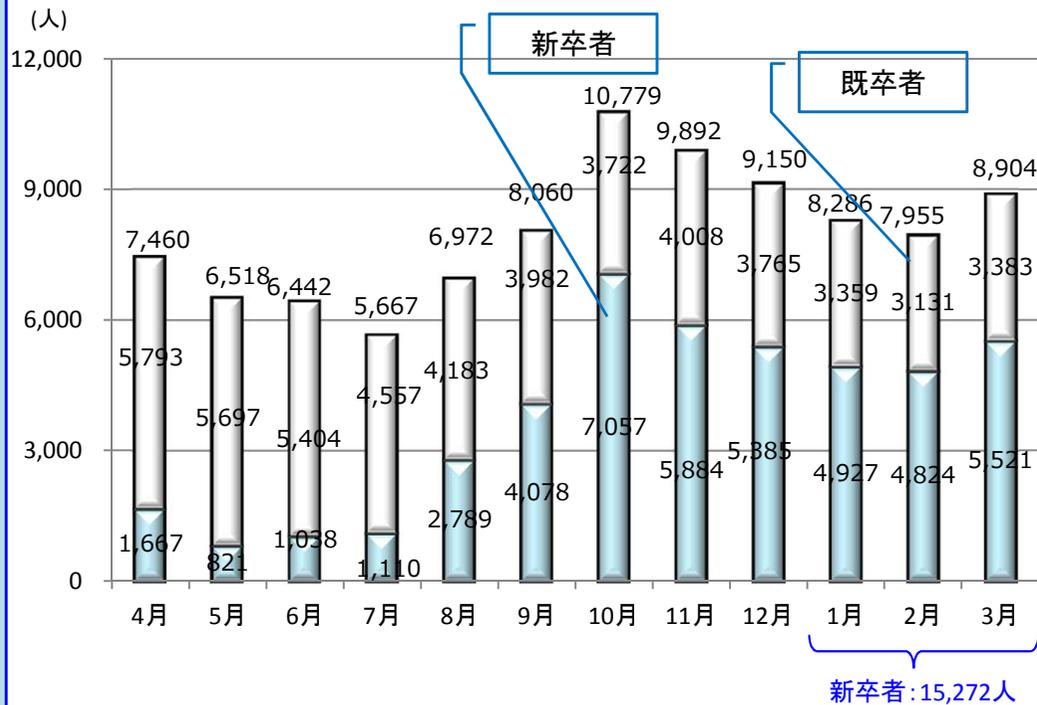
◇平成28年3月卒業者の平成28年1月～3月末の間の就職決定件数は**31,645人**（前年度比4.5%減）
（うち、**大学生15,272人**（前年度比1.2%減））。

※平成27年1月～3月末はそれぞれ、33,136人（うち、大学生15,452人）。

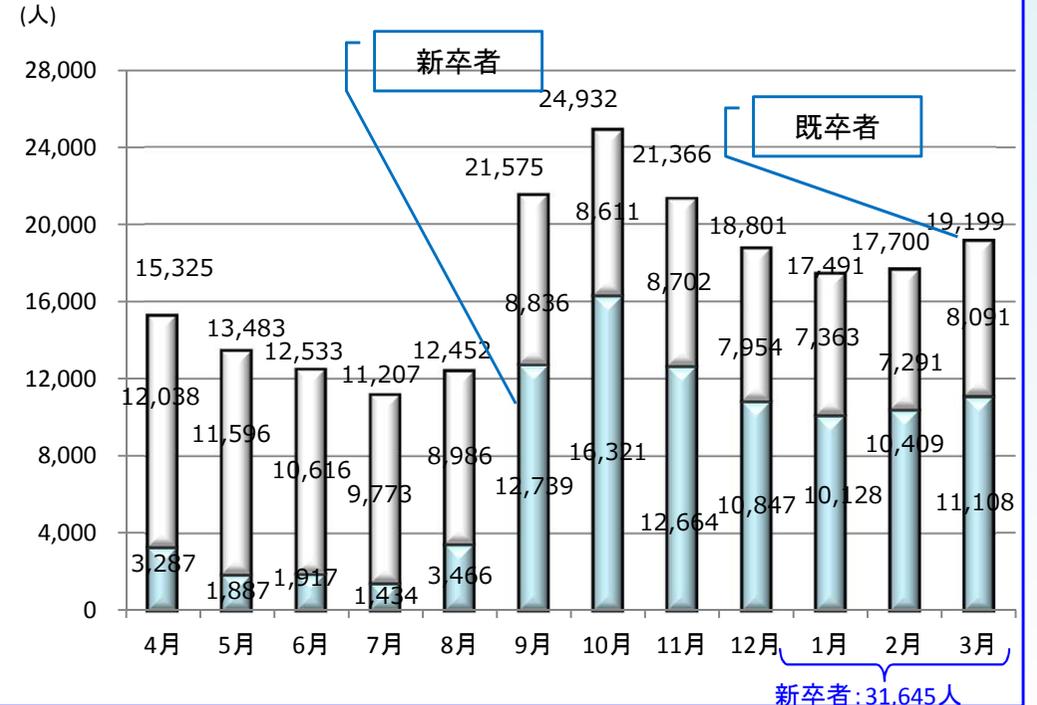
◇大学生の就職決定件数（平成27年度計）は**96,085人**（前年度比1.3%増）、うち**新卒者は45,101人**（前年度比3.6%増）、**既卒者は50,984人**（前年度比0.6%減）となった。

◇学歴計の就職決定件数（平成27年度計）は**206,064人**（前年度比3.8%増）、うち**新卒者は96,207人**（前年度比5.1%増）、**既卒者は109,857人**（前年度比2.6%増）となった。

大学生就職決定件数（新卒・既卒）

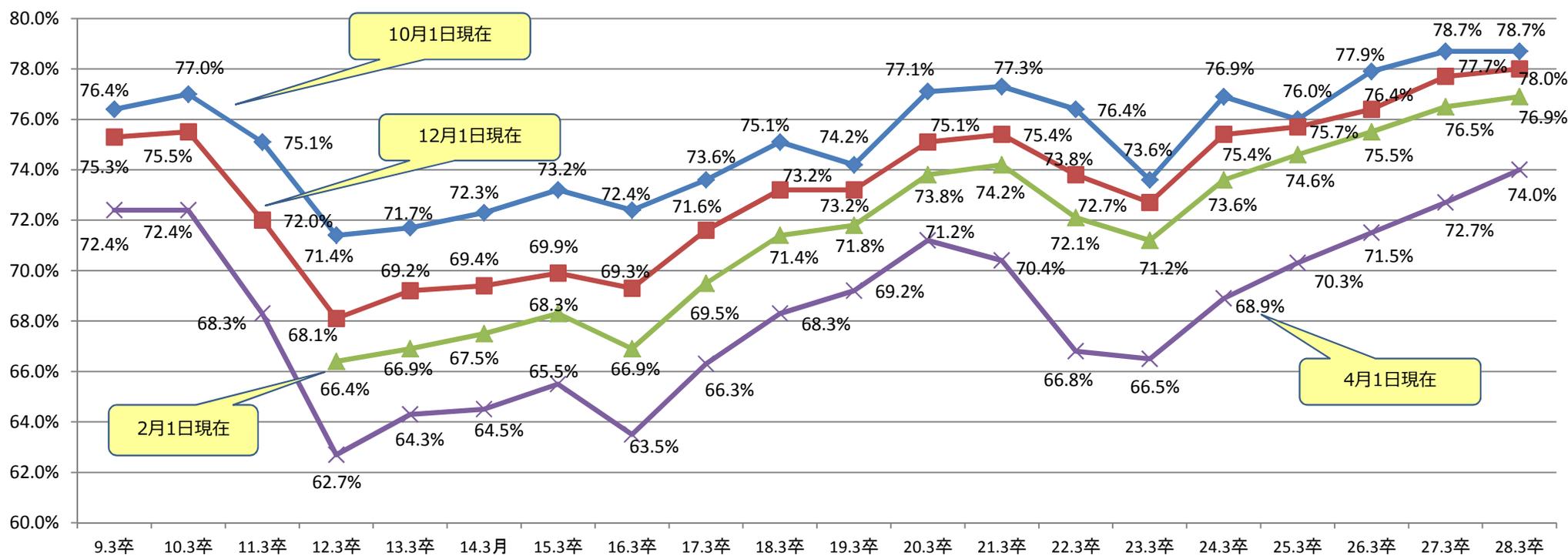


就職決定件数（新卒・既卒/学歴計）



新規大学卒業者の就職希望率の推移

- ◇ 新規大学卒業者の就職希望率は、上昇傾向にあり、多くの企業が内定を出す10月1日以降もあきらめずに就職活動を続ける姿勢がうかがえます。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し、6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2016」に取り組んでます（詳細は別紙4）。



(資料出所)「大学等卒業の就職状況調査」(厚生労働省・文部科学省)

(注)就職希望率は、卒業予定者数に占める就職希望者の割合。



未就職卒業生への集中支援2016

- ◇ 厚生労働省、文部科学省及び経済産業省は、1人でも多くの新卒者が卒業までに就職できるよう、1月から3月末まで「未内定就活生への集中支援2016」に取り組んでおり、1月から3月までにジョブサポーターの支援によって、**約3万2千人**が就職しています。
- ◇ 卒業までに就職が決まらなかった場合であっても1日でも早く就職できるよう、**卒業後もジョブサポーターによる個別支援を継続し**、6月末までを集中支援期間とし、「未就職卒業生への集中支援2016」に取り組んでいきます。



新卒応援ハローワーク等で卒業後も継続して就職活動を全力で支援します！

新卒応援ハローワーク等においては、卒業後もジョブサポーターによる個別支援を引き続き継続するとともに、1日でも早く就職できるよう、全力で支援を行います。

ジョブサポーターによる個別支援

大学等とジョブサポーターとの情報共有による支援(大学等の協力により把握した未内定者への電話による来所勧奨や求人情報の送付など)を継続するとともに、就職活動についてのアドバイスや希望に沿った求人情報の提供などの個別支援を徹底し、1日でも早い就職を目指します。

◆新卒応援ハローワークの所在地・連絡先:<http://www.mhlw.go.jp/topics/2010/01/tp0127-2/dl/5a.pdf>

就職面接会の開催

中小・中堅企業を中心に就職面接会を随時開催し、企業との出会いの機会を増やします。

地域の大学等との連携による 中小企業と大学生等との マッチング等の実施

地域の中小企業・小規模事業者は、既卒の方を含め若者など多様な人材の活躍を期待しています。経済産業省では、地域の特性に応じ、全国各地で合同企業説明会・就業体験・経営者や従業員との交流会などを開催することにより、地域中小企業への紹介、マッチングの促進や定着支援を展開します。

さらに、ニーズに応じて無料の職業訓練や紹介予定派遣を活用し、就職を支援します。

無料の職業訓練等 によるスキルアップ

求職者支援制度による職業訓練において設定される未就職卒業生向けの無料の職業訓練や企業に雇用されながら生きた技能・技術を学ぶための雇用型訓練を活用し、スキルアップを支援します。

◆詳しくはお近くのハローワークまでお問い合わせください:<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>

紹介予定派遣を活用した 正社員就職の支援

未就職卒業生を対象に派遣元での研修と派遣先での派遣就労(紹介予定派遣)を実施し、社会人としての基礎的スキルと経験を積み、派遣期間終了後の派遣先での正社員就職を支援します。

◆紹介予定派遣活用型正社員就職応援事業(若者キャリア応援制度):<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000045159.html>

～未就職のまま卒業された方に対する就職支援を継続して行います～

○ 卒業後も引き続き、新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等による支援を継続し、1日でも早い就職を目指します。



未就職のまま卒業された方のうち、
新卒応援ハローワーク、ジョブサポーター等の
支援による就職の実績



◇平成27年4月～6月：15, 248人
◇平成26年4月～6月：16, 531人
◇平成25年4月～6月：19, 755人



<ジョブサポーター等の支援による未就職卒業生の就職事例>

在学中の12月に大学から勧められ、ハローワークの出張相談を利用したAさん。卒業論文が提出できず留年しており、初回相談の印象では「できることが何もない」「自己PRが書けない」と泣き出すなど、自己肯定がとても低かった。出張相談を数回利用する中、本人のまじめさや勤勉さ、努力する姿勢を傾聴し、自信をもってもらった。

少しずつ自己肯定ができるようになり、1月には長所等自己PRを作成できるようになった。2月には就活の方向性について相談し、卒業を第一目標、就活は3月までに内定をもらうことを目指し、求人情報提供や模擬面接を実施した。未内定のまま卒業したが、応募を続けた結果、当初の希望である事務職ではなく、ブランド品買い取り販売会社の総合職として採用が決まった。(奈良)

公務員試験が不調に終わったため、新卒応援ハローワークに来所したBさん。コミュニケーションをとることが得意でないため事務職を希望。

一体的運営を行っているハローワークとジョブカフェのチーム支援対象者として選定し支援を続けたところ、苦手だとしていた面接で明るく自分の意見を言えるようになり、「自分に合った求人と一緒に選んでもらい、志望動機や面接についてのアドバイスをいただき、一人ではない就職活動をすることができた」と自信を付け試験に臨むことができ、地元の会計事務所への採用が決まった。(北海道)

未内定のまま高校を卒業したCさん。医療事務を希望するも知識・技能がないため、医療事務の職業訓練を勧め、受講した。

訓練修了後、関連する資格を取得し、積極的に応募したが不採用が続いたため、ハローワークの来所が途絶えてしまった。

ジョブサポーターが定期的に連絡し、あきらめないように励まし続けたところ来所を再開。求人情報の提供、応募書類の作成支援、面接指導と総合的に支援を実施した結果、総合病院の医療事務職に採用が決まった。(山梨)

医療系の専門学校を卒業したものの、学生時代は資格取得に向けた勉強が中心となり、数社応募するも内定が得られず新卒応援ハローワークに来所することになったDさん。これまでの就職活動を振り返り、応募書類の作成から支援を開始した。履歴書以外に自己PR書を作成し、病院実習の経験を中心に自己の強みが伝わる内容になるよう支援。不採用が続き落ち込むこともあったが、都度、一緒に面接を振り返り、次回の面接に活かすよう助言。支援開始から3カ月後、病院に採用が決まった。事業所からは、まじめな人柄で仕事に対する意欲を感じたとコメントをいただき、本人の更なる就業意欲につながった。(宮城)